

雲切ネット:陽宅科カリキュラム(前半)

陽宅科第一回

風水建築の進め方、中心を出す
風水による吉相住宅建築の条件
建築計画の順序(一戸建て・新築の場合)
建築計画の順序(一戸建て・改築の場合)
移転計画の順序(集合住宅)
方位と家相の関係
方位は家相とシンクロする
中心を出す事例

陽宅科、第 2 回

土地選定の基準
1、四神相応にのっとっていること
個人住宅の風水(敷地が広い場合)
人住宅の風水(庶民的な住宅の場合)
土地選定上のタブー
龍を観る
道路と周囲の形状

陽宅科、第 3 回

変形がある場合の中心
実際に太極を出す場合
張りや欠けの原則
張りや欠けが複数ある場合
変形と床の強度など



陽宅科、第 4 回

方位を調べる
1、北極星の位置で調べる。(真北)
2、地図で見つける。(真北)
3、太陽の南中点を利用して調べる。(真北)
4、磁石で調べる(磁北)
二種類の北、偏角の推移
方位の区切りは使い分けて
細かい区切りが無意味な理由
健康と運命と家相
家は衣服の一種

陽宅科、第 5 回

四季と大気現象
十二支と季節、時間と方位
風水学の原点は大気学
九紫火星が水素なのはなぜ
酸素と生物、水と人間、採光と通気
家相の役割とは
大立地条件と四神相応、小立地条件

陽宅科、第 6 回

土質と地質、地勢
住める土地、住めない土地
換土法について、土質について
避けるべき地勢
道路付け、三愚の相
吉相の地理、地勢、凶相の地理、地勢
あぶない地名、綺麗な地名の陰に

※陽宅科の設問 1~6 回(回答は次回)

<p>陽宅科、第 7 回</p> <p>宅地の使い方と環境学へ なぜ宅地の形を気にするか 順応性の功罪 宅地の形とその性質、実際の使用例 門と門扉、門の大きさ、高さと性質 門のサンプル、塀・垣根・フェンス 門にまつわる、あるエピソード</p> <hr/> <p>陽宅科、第 8 回</p> <p>張り欠けの象意 先天定位と後天定位 ◆震宮、◆巽宮、◆離宮、◆坤宮 ◆兌宮、◆乾宮、◆坎宮、◆艮宮 張り欠け度合いの吉凶 実際の物件の張り欠けを見る</p> <hr/> <p>陽宅科、第 9 回</p> <p>間取りの科学・基本原則 人間の習性・大原則 安定と不安定、明るい方が安定？ 安定の方位、不安定の方位 方位別の人事 立体と平面・部屋の広さと性格 広い部屋、狭い部屋 立体と平面・天井の高さと性格</p>	<p>陽宅科、第 10 回</p> <p>間取りの科学・門と玄関 門・玄関の大きさ 玄関の影響のしかた 玄関に向く方位、向かない方位 方位別の玄関の特徴 玄関方位のタイプ</p> <hr/> <p>陽宅科、第 11 回</p> <p>間取りの科学・キッチンと水周り全般 水周りの考え方 理気とは、理気の開放 台所を考える、台所のタイプ 台所のポイントと注意点 キッチンの実例、家の中央にある場合 一戸建ての水場、台所、他の方位</p> <hr/> <p>陽宅科、第 12 回</p> <p>間取りの科学・水場とトイレ 避けるべきトイレ方位、トイレの要件 方位別のトイレの性質 排水路の重要性と流れの方向 トイレと水場の見方、実例から 各国のトイレ事情</p> <p>陽宅科の設問7～12回</p>
--	--

各設問は、講座本文をちゃんと読んでいるか、確認の為の簡単な設問です。
陽宅科後半は、間取りの科学の続き、リビングや階段、窓の解説、個人の体質や職業との相性、凶相の防ぎ方、インテリア心理学面から見た家相の考え方、などを学びます。
一通り基礎学習を終えた後は、実際の物件に対して、それをどう当てはめていくか、という大切な段階の勉強に入ります。家には同じ物件は無く、すべて一件ずつ違いますので、この応用力をつけられるかどうかで、非常に大きな差が出ます。応用編では更に実際の物件への応用力をつけ、それを事業風水へと発展させる方法を学びます。